

ごはんはおいしく。
下水道にやさしく。

なんでも流していませんか？
実はそれ、水に流せない問題です。

9月10日は 下水道の日

立春から数えて220日にあたる9月10日頃は、台風が多く、220日(にひゃくはつか)と呼ばれています。そのことにちなんで、下水道の大きな役割のひとつである「雨水の排除」を念頭に、9月10日と定められました。この機会に、下水道の役割や正しい使い方について考えてみませんか。

下水道を守る、 ご家庭でできること。

台所では油や生ごみを流さないで!

料理で使った油や生ゴミを台所から流すと下水道管内で油が固まり汚水がスムーズに流れなくなります。悪臭や詰まりの原因となりますので、流さないでください。油は紙でふき取ると節水にもなります。

トイレでは溶けない紙などを流さないで!

紙おむつ・ティッシュペーパー・ゴミなどを流すと、下水道管が詰まり、トイレが使えなくなることがあります。トイレトペーパー以外のものを流さないでください。

熊本の水環境を守る 下水道の仕組み 下水汚泥のリサイクル率100%!

下水汚泥の適正処分と有効利用への取り組み

下水処理過程で発生する汚泥を適正に処分することは、水質管理と並び下水道の維持管理上重要な課題です。最初沈殿池や最終沈殿池で沈められた汚泥を集めて、各浄化センターで脱水機にかけることで脱水汚泥となります(約82t/日)。脱水汚泥は、これまで安定化・減量化のため、南部浄化センターの焼却炉で全量焼却してきましたが、循環型社会形成・地球温暖化防止の観点から、汚泥の有効利用に積極的に取り組み、平成20年度からは一部をセメントやコンポスト(肥料)の原料として活用し、平成25年度からは残りを固形燃料化することでリサイクル率100%を達成しています。

脱水機



脱水汚泥



下水汚泥固形燃料化施設



下水汚泥の有効利用例



コンポスト



セメント



燃料化物(炭化固形物)

大切な下水道使用料

皆さまに納めていただく下水道使用料は、ご家庭や事業所などから排出された汚水を、きれいな水にして河川等に放流するためや下水道管の清掃・維持管理などに充てられています。

詳しくは
こちら▼



熊本市上下水道局
キャラクター ウォックくん